

研 究 報 告 書

学 校 名 南大東村立南大東小中学校

1 研究主題

本研究では、各教科や総合的な学習を軸に学校教育全体を通して「非認知能力」を育むことで SDG s の目標 11「住み続けられるまちづくりを」と結びつけた「住み続けたい・訪れたい島づくり」の実現を目指す。

2 主題設定の理由

本校の児童生徒の殆どが「島が大好き」であり島(村)の行事や地域との関わりにも積極的である。一方で、「公園や公共施設などの公共の場の活用」については「あまりよろしくない」と感じている子も多い。特に、日常的に使用する公園でのゴミ放置の多さは、彼ら自身も実感しているところである。近年、島外からの観光客も増えている中、現状を変えたいと願う児童・生徒会を中心に、ゴミ拾い運動や各種の啓発活動を今年度は推進しているが、望ましい習慣の定着とまでは至っていない。本校は小学校から中学校まで一学年一学級で、各学級の人数 10～20 人である。一人が使用できるスペースが本島の学校と比べて比較的多い。自分の必要を越えて使用できるスペースがあることにより、個人の管理からすり抜けた持ち物が教室内にあちこち置かれている。望ましい習慣の定着を図るためには、非認知能力にあたる「自己管理能力」や「公共性」などを育む取り組みが緊要である。生徒会では、課題解決の取り組みとして週に一度ロッカーの整理する時間、校内美化作業などを設定している。学推（キャリア教育）の取り組みとしては、自分の夢に向かって、見通しを持ち、やりぬき、ふりかえる力を育むために夢実現ノート

「Diary」を活用している。これまでの学校教育活動を振り返ると主体性や自己管理能力といった「非認知能力」の育成している実践が多くある。本研究を推進する中で、もう一度、職員全体で共通のビジョン（本研究のテーマ）を掲げ、継続・発展させることで、SDG s の達成に寄与できればと考える。さらに、自分の好きな島をよりよい島にするには、身近な整理・整頓から始められることを実感させ、自分の行動でよりよい島づくりに貢献したという自己有用感を高めたい。

3 研究実践の主な内容

(1) 研究方針

①教科指導・校内研究との連動

校内研究テーマ「自立した学習者を育む授業の工夫～児童生徒の自己調整力の育成を目指して～」に沿って、本校では授業改善に取り組んでいる。振り返りシートの工夫や、生徒が自ら計画を立て、学ぶ方法（教科書・タブレット・問題集など）・学ぶ場所（教室・図書館・地面・広い場所など）・学び方（一人・複数・先生と・級友となど）を選択し、それを振り返ることで、自己調整力の育成を図っている。教科指導を通して、自己調整力を育むことが、自分の持ち物の把握や置き忘れを防ぎ、公共施設での忘れ物や物を放置するということを防ぐ基盤としたい。

②生徒会活動との連動

③小中併置校のよさを生かした小学校・児童会との連携

(2) 研究内容

別紙参照

(3) 研究実践例

別紙参照

4 研究実践の成果と課題

〈成果〉

○開拓125周年の節目に、学校（生徒会役員）から地域へ企画を提案し実行できた。

【企画内容】

○南大東島の基幹産業であるサトウキビに焦点をあて、かつてその運搬にシュガートレインが活躍していたことをなぞり、製糖工場から西港（3.7km）までを、原料糖を入れた1つのバケツでリレーを行う。

○港にバケツが到着したあと、参加者で村歌を合唱・吹奏楽部伴奏。

⇒島の文化・歴史をなぞり、島の魅力を再認識したこと、学校・保護者・地域が一丸となって企画を実行したこと、参加者全員で村歌を合唱したことにより、より島のことを誇りに持ち、これからの住み続けられる島・魅力ある島づくりを考える機会をつくることができた。

○大学や研究機関が一堂に会す「ダイトウ学会」にて、児童生徒・保護者・地域方々へ1年間の取り組みを発信することができた。

○児童生徒がよく利用する公共施設の忘れ物やゴミが減り、景観がよかった。

〈課題〉

●「最後まであきらめずに学習課題に取り組むことができる」という質問に対し、約25%の児童生徒が否定的であった。

⇒自己調整力の中でも粘り強さ・忍耐力を身につけさせ、育む取り組みへと発展・継続させる。

●生徒会と各学級への思いや取り組みの発信の場や機会を増やしたり、方法の工夫が求められる。

令和6年度南大東小中学校
校内研究の振り返りと次年度へ向けて

小学部 中学部研究主任

【研究テーマ】
自立した学習者をはぐむ授業の工夫
～児童生徒の自己調整力の育成を目指して～

↓

【研究仮説】
各教科において、児童生徒の自己調整力の育成を
目指した授業を行うことで、自立した学習者を育む
ことができるであろう。

子ども達の「生きる力」を育むために、主体的・対
話的で深い学びの観点から「何を学ぶか」、「何が
できるようになるか」等、学び方について言及

「平成29年 小・中学校学習指導要領改訂版」より

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に
充実させ「主体的・対話的で深い学び」の実現

「2021年 中央教育審議会『中学校の日本高等学校教育の準備を期して』」より

重点1『自立した学習者の育成』

「2023年 沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトB」より

【R6年度の主な取り組み】

1. 見通しと振り返りの工夫による授業改善
2. 補助簿を活用した授業参観
3. 一人一授業・代表授業
4. 自己調整力の育成の手立てを検証する授業研究会
5. 事前事後の児童生徒アンケート

【見通しを持たせる工夫】

図解・表・グラフを用いた見通し提示

【振り返りの工夫】

【補助簿の活用】

授業参観時の活用方法

1

【一人一授業 小学部】

授業の様子

【一人一授業 中学部】

授業の様子

【代表授業・数学】

授業の様子

【代表授業・理科】

授業の様子

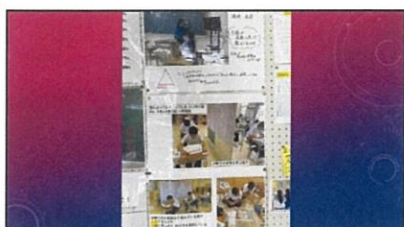
【校内研だより】

校内研だより

【学び方掲示板】

各学年の学び方を発信

2



3

2/20/2025



【成果】

- 自己調整力の育成に向けた授業改善を全校体制で取り組むことができた。
- 授業ツールを学部で共有することで児童生徒が自己調整しながら学習に向かう様子が多く見られた。
- 校内研だよりを発行することにより、職員間の授業内容等の共有を行うことができ、協働研究を推進することができた。

【課題】

- 「やりきる力」の育成が必要。
- 自分の考えや思いを説明したり伝えたりする「表現力」の向上が必要。

4

【次年度の重点目標】
児童生徒が「自立した学習者」になるための取り組みの工夫

↓

児童生徒のやりきる力の育成と自学力育成に向かう授業構築

【自立した学習者とは】
目的や状況に応じて、自分に合った
学び方を工夫したり、学習意欲を自
ら引き出したりして学習できるような
児童生徒
「沖縄県学力向上推進施策『自立した学習者』育成プロジェクト」より

【R7年度校内研究テーマ】
自立した学習者をはぐくむ授業の工夫
～児童生徒のやりきる力の育成と学習サイクルの
確立を目指して～

SDGs研究報告

南大東村立南大東中学校
第77期生徒会執行部

学校紹介

- ・沖縄本島から南東へ約360kmの小中学校（小学校117周年、中学校77周年）
- ・学校在籍人数：
小学校70名、中学校45名
- ・部活動・同好会・スポーツクラブ：男女バドミントン部、吹奏楽部、ダンス、ハンドボール（小学校）



通年での取り組み

R6グランプリ（R1～）
各委員会の朝会発表（R4～）
ロッカー整頓（R4～） 「SDGs ターゲット11」
公園へごみ箱設置（R6～） 「SDGs ターゲット11」
ありがとうの樹（R4～）
登校時のゴミ拾い（R5～） 「SDGs ターゲット11」
なんちゅう会議（R6～）

通年：R6グランプリ

楽しく課題解決

学校の課題と各種委員会の役割を合わせて解決していくための取組

例）毎朝の身なりチェック（美化委員会）

景品なども用意し、無理なく楽しみながら現在の学校の課題を解決していく。

通年：ゴミ拾い

キレイな島へ

課題：登下校路にゴミのポイ捨てが目立つ

解決策：登校途中にゴミ拾い

結果：登下校路にゴミがなくなった



通年：ありがとうの樹



高める自己有用感

通年：ロッカー整頓

整える

毎週金曜日の帰りの会までにロッカー整頓を行う。

目標は「常に整える」ことができる。



通年：公園へゴミ箱設置

自ら考え行動に



公園のゴミが目立つ
→近くにゴミを捨てる場所がないことが原因（生徒会考察）

自分たちが使うところはキレイな方が良い！

通年：公園へゴミ箱

SDGSプロジェクト
(住みやすい街づくりを)

期間…9月2日～12月23日

南大東中生徒会執行部



通年：各委員会の朝会発表

全委員会で学校づくり

1人1人が意識を持ち、考え、行動

図書委員会



放送委員会



保健・体育委員会



通年：なんちゅう会議

生徒会執行部主導で各種委員長・副委員長を毎月、集めている。

生徒会各種委員会に向けての話し合いなど。



自主・自立・自治

SDGsターゲット⑪

11 住み続けられるまちづくりを



・住み続けられるまちって、どんなまち？

身近な生活を心地よくできる、当たり前の挨拶や、地域の為の活動など、他者を思いやる小さな取組みが大切だと考えました。



主な取り組み一覧

- 4月：生徒会入会式（Tシャツ紹介）、遠足
- 5月：学級討議及び生徒総会
- 9月：触れ合い広場清掃及びゴミ箱設置
- 9月：SDGs講話
- 9月：公共施設見学
- 12月：イルミネーション設置
- 1月：バケツリレー&世界記録にチャレンジ!

4月：生徒会入会式

生徒全員が生徒会の一員
学校Tシャツで所属感をUP



4月：3年生学級旗づくり

アップサイクル&一致団結



古くなったテーブルクロスを
学級のシンボル「学級旗」へ

4月：春の遠足

生徒の声から遠足が復活

異学年交流

開拓125周年

ゴミ拾い



5月：学級討議および生徒総会

よりよい学校・
魅力ある学校を目指して

- 第1回学級討議：
学校の課題、解決策の考案
→それを元に生徒会の方針を決定
- 第2回学級討議：各種委員会への質問内容
- 生徒総会
第5号議案：よりよい学校にするには
→課題：整える・あいさつ・ポイ捨て など



9月：ふれあい広場 ゴミ箱設置

地域のため、私たちのため



9月：ふれあい広場清掃

よりよい
島づくりへ向けて

ふれあい広場でのポイ捨て
問題の発見



9月：SDGs講話 東 真七水さん

1人の100歩より
100人の1歩

- ・一人一人が行動することの大切さ
- ・ゴミ拾いは運拾い



9月 公共施設見学

私たちの生活を支える 水 と 電気

島の生活を守る
人々の存在

感謝



12月：イルミネーション設置

通いたくなる学校
イルミ in MINAMI

- ・小中学生・保護者・地域の方が見ることのできる場所
 - ・小学生が帰宅後に保護者や家族と訪れやすい場所
- この2つに適した、正門からの通りをイルミネーションで飾り付け



1月：バケツリレー&世界記録にチャレンジ!

島で挑んだ大きな挑戦



前年度までの継続

「SDGs研究指定校だから」
「開拓125周年だったから」ではなく、
これまでの生徒会活動の積み重ねの継続・発展

そして、これからも持続していける活動へ

前年1月：能登地震義援金



自ら考え行動に

生徒会活動の通年の取組が、
功を奏したのか、生徒自ら
考え、行動に移しました。

前年1月：ドリームロード命名

夢を叶えるための道
【ドリームロード】



夢を叶えるために、通う
学校への道
卒業後、夢を叶えるため
に羽ばたいていく道



MDTターゲット125



125 魅力ある
学校づくり



魅力ある学校づくり SDGs プロジェクト

R6年度 南大東小学校 児童会

みんながSDGsについて知る！！



掲示物をつくってはりました！

みんながSDGsについて知る！！



SDGsに関する説明動画をつくって、
みんなに見てもらいました！

学校創立記念日

南大東小学校の
好きなところを
みんなで見つけたよ♡



自分達で自分の学校の良さを再確認しました！

11 住み続けられる まちづくりを



楽しんでゴミ拾い♪



楽しんでゴミ拾い♪



みんなの気づく力で南大東島を完成させよう



ペットボトルのキャップを集めました



みんなで使う場所は、

みんなで大切に扱う

自分のものは自分で整えよう!!



みんなで使うトイレのスリッパを並べてくれたり、学校でゴミを拾ってくれたり・・・



みりよくある学校づくりに

協力💪できたら



キャップをはってね! 😊

キャップをはれるのは

①身の回りのせいり整頓をしたとき(毎日でもOK)

②トイレのスリッパを並べたとき

③学校のごみを拾ったとき



大好きな島や学校を大切に守っていこう!!

